

| 活動日           | 時間          | 天候   | 記録者  |
|---------------|-------------|------|------|
| 2018年9月3日(月)  | 14:00~15:00 | (晴)  | (菅田) |
| 2018年9月13日(木) | 9:30~12:00  | (曇り) |      |
| 2018年9月26日(水) | 9:30~12:00  | (晴)  |      |

|                     |   |
|---------------------|---|
| 参加者氏名<br>(2名+8名+9名) | (9月3日) 菅田忠志、山田喜義  |
|                     | (9月13日) 松本治美、山田喜義、米倉進、菅田忠志、塩ノ谷年子、田路義弘<br>水島康夫、俵貴志子俵     |
|                     | (9月26日) 松本治美、山田喜義、米倉進、菅田忠志、塩ノ谷年子、小林澄夫<br>橋野敏子、水島康夫、南木久枝 |

|            |  |
|------------|--|
| 今月実施した作業内容 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 台風20号通過後の林内被害状況調査と台風21号に備えての小形物置の緊縛固定強化</li> <li>4. 林内の倒木・枝折れ木の部分的撤去作業(作業道・散策路周辺)</li> <li>2. 今年夏に羽化したカブトムシ成虫による産卵後の孵化・幼虫生育状況調査</li> <li>3. 同上の結果を踏まえて、幼虫保護のため、イノシシ対策木柵金網による囲い込実施</li> </ol> |
|------------|--|

|      |                     |
|------|---------------------|
| 写真説明 | (9月13日) 台風20号被害状況調査 |
|------|---------------------|



被害調査  
わぁ ひど〜い!



台風21号による被害は、予想以上に大きく、花実の森入り口周辺に集中していた。南方向、東方向からの強烈な風による倒木・折損と思われる。少し奥まったところで作っている「カブトムシ成育観察小屋」周辺では大きな被害は認められなかった。村全体としては〇百本の規模とのこと。





被害状況の内、我々の手で片づけられるものと、ちょっと手におえないところもあり。振興協会緑地運営課にも相談しながら安全第一で片づけていきたい。

(9月26日)



奥に位置するカブトムシ生育観察小屋周辺は、入り口周辺程の被害はなかった。

(巻きつけているカシノナガキクイムシ駆除用粘着テープは近日撤去。次年度も新規巻付け予定)



倒木や枝折れで作業道・散策路がふさがれて通れなくなったところから手を入れていく。



下の入口付近にある用具倉庫の周辺では ↓





被害は台風ばかりではなさそう。数か所に積み上げていた朽木の散乱状態から、イノシシのエサ探しの痕跡が見つかった。

貪欲な食欲への活動期に入ったか？

知識が無かった4~5年前には、育てていたカブトムシの3齢幼虫を一晩のうちにごっそりやられてしまった苦い経験があり対策が急がれる。



春先からコツコツとコナラ小枝のチップ掛け作業をしながら貯めてきた“快適な生育環境の寝床”の状態はどうか？

今年羽化した成虫の雌がしっかり産卵し、孵化してくれているかな？と確認作業。期待が膨らむ半面、まだ腐葉土化の進行度合いが浅いので無理かな？産卵していないだろうかと掘りはじめるや、“いるわいるわ状態”にビックリ。



7月のカブトムシ成育観察会で、子どもたちが成虫を掘り出して持ち帰った跡の“去年の腐葉土”も確認の結果、上記今年のチップ場所同様、しっかり世代交代の幼虫がたくさん育っていた。

両方の腐葉土にはしっかりしたイノシシ対策が必要と、さっそく木枠の金網で囲い込みを完了させる。さあ安心して腐葉土をもりもり食べて越冬の体力をつけるんだよ。